

よくじょうへん
翼状片

【翼状片とは．．．】

結膜から角膜に向かって肉片のような物（翼状片）がのびてゆく病気です。これが小さい間には視力障害はありませんが、大きくなって瞳孔にかかると視力が落ちてしまいます。

【原因は？】

不明ですが、太陽に当たる仕事をしている人によくできます。また、目をついたことが原因となる場合もあるようです。

【治療】

小さいものは経過をみて、大きくなってきたら手術をして取り除きます。

【経過】

手術で取り除いても再発することがあります。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8